

と願ひ出たんだど。

殿様はとのさま大層喜んで、農民の為になることだから実施するようにと、許しが出たんだど。

備後は、一五五六年頃から毎日毎日大勢の人々と共に二十年近くかかってねんかん念願の堰を完成して、その堰を岩崎堰と名付けたんだど。

この工事は、会津でも屈指の長い堰のために大工事となり、完成までにはいろいろ思ひ出があつただど。それでこの堰を別名「思ひ堀」とも言つてるんだど。

なお、小森備後は工事の功績を認められ、下小松村内に領地をいただいたんだど。そして、その領地の田圃までの堰を小森田圃とも呼んで、その功績を忘れないようにしてんだど。

その後、昭和三十八年以來の圃場整備により、現在の堰は、幹線水路が六本となり、そこから細かく分水されるしくみとなり、田圃の水かけも心配がなくなつただど。